

次期「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略」 【骨子案】

第3回 熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会資料

令和元年10月29日

- まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」
- 「熊本市人口ビジョン（令和元（2019）年度時点修正予定）」に掲げた本市の将来展望の基本的方向性を踏まえ、人口減少克服の観点からより実効性のある施策を取りまとめたもの
- 「熊本市第7次総合計画」に掲げる「めざすまちの姿」の実現に向け、「人口減少克服」「地方創生」という政策課題に対し戦略的に取り組むために策定
- 現行総合戦略の期間は、平成27（2015）年度から令和元（2019）年度までの5年間
- 今後も切れ目ない取組を進めるため、次期総合戦略を策定

○ 策定の方向性

現行総合戦略に定める基本目標、方向性を継承しながら、検証・見直しを行う。

■ まち・ひと・しごと創生基本方針2019など国の方針

→「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」（令和元（2019）年6月）

■ 検証委員会による評価・検証

■ 熊本市第7次総合計画中間見直し(2019年度実施)

■ 熊本地震の影響や新たな時代潮流

■ 熊本市人口ビジョン(2016.3策定)の改訂

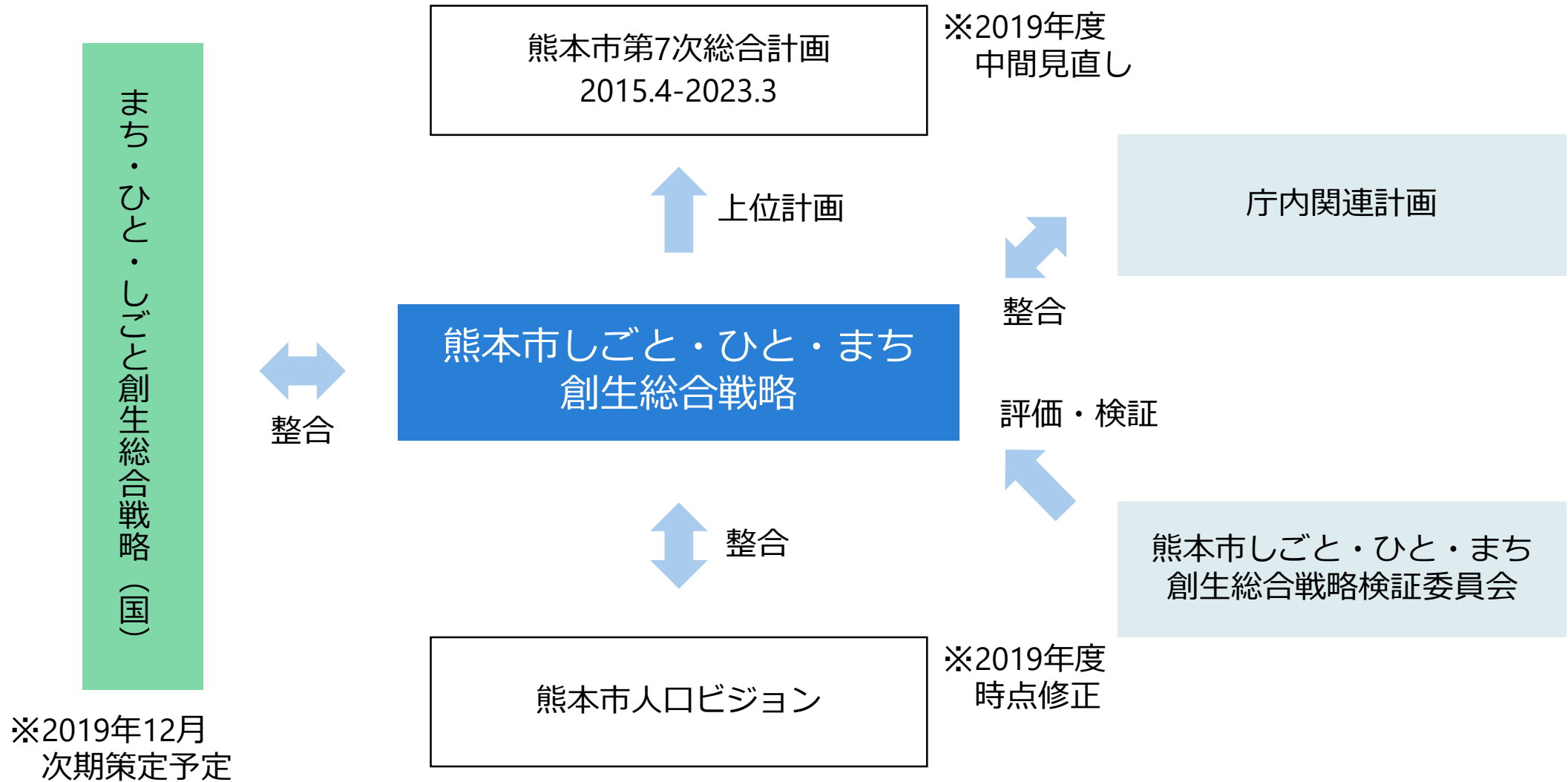
→「地方人口ビジョンの策定のための手引き」（令和元（2019）年6月）

○ 計画の期間

第7次総合計画の期間に合わせて4年（2023年度迄）とする。

○ 検討体制

「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会」にて意見を伺いながら検討を行う。



○ 基本理念

- ・本市の進める地方創生は、総合計画におけるまちづくりの基本理念を踏まえ、地域の声を拾い上げ、本市が自ら考え、責任をもって、地域の個性や特性に応じた地域活性化を遂行する。
- ・九州内の自治体との連携・協調を進め、各々の施策によって奪い合い、消耗戦に陥るのではなく、それぞれの地域特性・位置づけ・役割を認識し、相乗効果を高め合いながら、調和の取れた取組みを進める。
- ・平成28（2016）年には近隣市町村と連携中枢都市圏形成にかかる協約を締結し、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能の向上」の3つの取組を実施していくこととしており、本市は熊本都市圏における中枢都市として、あるいは県都として、県全体をけん引する役割を果たす。

○ 方向性

人口の自然減対策としても社会減対策としても重要な「しごと」に力点を置き、名称も「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略」として「しごと」を中心に様々な施策をまとめ、多面的に展開

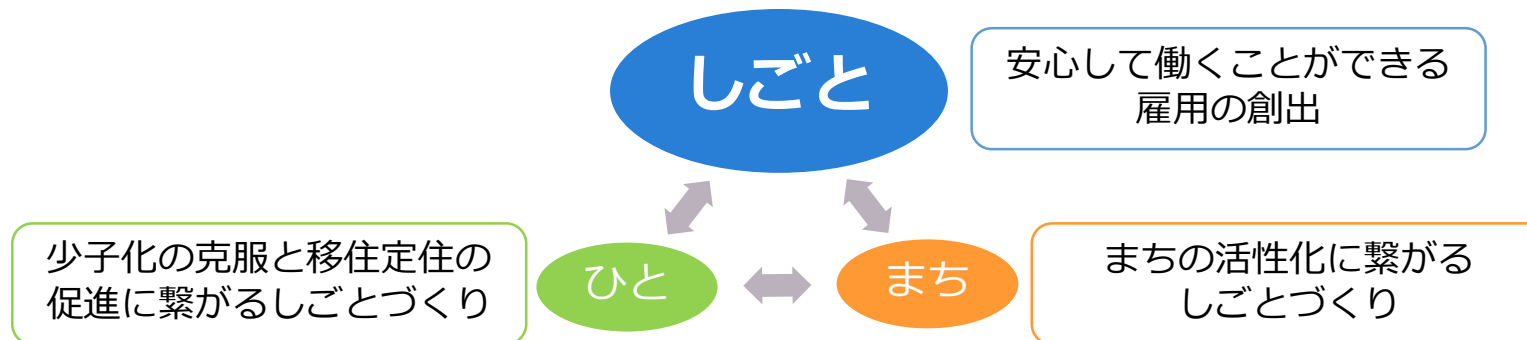
人口の自然減対策

- 結婚・出産・子育てができる雇用環境の整備
- ワーク・ライフ・バランスのとれた就労環境の整備

人口の社会減対策

- 転出抑制、転入促進のための雇用機会の確保
- 転出抑制、転入促進のための起業化できる環境整備

「しごと」に力点を置いた総合戦略の展開



人口ビジョンに基づく 基本戦略

基本目標 1

国内外から人々を引き付けるまちを創り、安心して働くことができる雇用を生み出す。

～移住・定住の促進と交流の活発化～

基本目標 2

安心して子どもを産み育てられるまちを実現する。

～少子化の克服と次世代育成～

基本目標 3

多様な地域が形成され、安心して暮らせる地域社会を実現する。

～地域の特性に応じた社会環境の創出～

熊本市第7次総合計画
熊本市震災復興計画

「人口減少克服」「地方創生」の取組

熊本市しごと・ひと・まち
創生総合戦略

基本戦略

リーディングプロジェクト

基本戦略の取組をけん引する リーディングプロジェクト

- I 「**戦略に基づく**文化・交流くまもと創生」プロジェクト
- II 「農水産業の振興によるくまもと創生」プロジェクト
- III 「**人生100年時代を見据えた**くまもと創生」プロジェクト
- IV 「**創業支援と**地場企業の強化によるくまもと創生」プロジェクト

※資料2で検討

【現行 H29（2017）.3改訂】

1 基本的考え方	
(1) 位置づけ	
(2) 基本理念	
(3) 方向性～「しごと」に力点を置いた地方創生～	
(4) 期間	
2 熊本地震に基づく改訂について	
(1) 背景	
(2) 現状認識と課題	
(3) 改訂の方向性	
(4) 構成	

【第2期総合戦略 R2（2020）.4～】

1 基本的考え方		
(1) 位置づけ		策定の趣旨及び本市における総合戦略の位置付けを記載
(2) 基本理念		国の基本方針や新たな時代潮流、震災等の影響から見直しを行うものの、現行総合戦略の「基本理念」「方向性」を継承
(3) 方向性～「しごと」に力点を置いた地方創生～		
(4) 熊本地震の影響について		熊本地震による改訂内容と今後の方向性を記載
(5) 持続可能な開発目標（SDGs）の推進について		SDGの推進に向けた基本方針等を記載
(6) 期間		
(7) 構成		
2 熊本地震に基づく改訂について		
(1) 背景		震災の影響を踏まえた見直しは全体に溶け込ませる
(2) 現状認識と課題		
(3) 改訂の方向性		
(4) 構成		

【現行 H29（2017）.3改訂】

3 基本戦略	
基本目標 1	
基本的方向	
施策	
（1）雇用（しごと）の場の拡大と雇用の質の向上	
（2）農水産業の振興	
（3）人材育成の支援と移住定住の促進	
（4）交流人口の拡大	
基本目標 2	
具体的方向性	
施策	
（1）結婚・妊娠・出産支援の推進	
（2）子ども・子育て支援の充実	
（3）仕事と子育ての両立支援と若者の経済的安定	



【第2期総合戦略 R2（2020）.4～】

2 基本戦略		
基本目標 1		人口ビジョンに基づく将来の方向性であり、継承
基本的方向		○国の基本方針や新たな時代潮流、震災等の影響等から見直しを行う。 ○第7次総合計画（現在見直し作業中）と整合を取る。
施策		
（1）雇用（しごと）の場の拡大と人材の確保		
（2）農水産業の振興		
（3）人材育成の支援と移住就業の促進		
（4）交流人口の拡大		
基本目標 2		人口ビジョンに基づく将来の方向性であり、継承
基本的方向		○国の基本方針や新たな時代潮流、震災等の影響等から見直しを行う。 ○第7次総合計画（現在見直し作業中）と整合を取る。
施策		
（1）結婚・妊娠・出産支援の推進		
（2）子ども・子育て支援の充実		
（3）仕事と子育ての両立支援と若者の経済的安定		

【現行 H29（2017）.3改訂】

基本目標 3	
基本的方向	
施策	
（１）「多核連携都市」の実現に向けた公共交通機関の充実及び既存ストックの利活用	
（２）安心して暮らせるまちづくりの推進	
4 リーディングプロジェクト	
I 「文化・交流の活性化によるくまもと創生」プロジェクト	
II 「農水産業の振興によるくまもと創生」プロジェクト～「KUMAMOTO アグリポリス構想」	
III 「医療・福祉とコミュニティの充実によるくまもと創生」プロジェクト	
IV 「地場産業の強化によるくまもと創生」プロジェクト	

【第２期総合戦略 R2（2020）.4～】

基本目標 3	人口ビジョンに基づく将来の方向性であり、継承
基本的方向	
施策	○国の基本方針や新たな時代潮流、震災等の影響等から見直しを行う。
（１）「多核連携都市」の実現に向けた公共交通機関の充実及び既存ストックの利活用	○第7次総合計画（現在見直し作業中）と整合を取る。
（２）安心して暮らせるまちづくりの推進	
3 リーディングプロジェクト	
I 「 戦略に基づく 文化・交流くまもと創生」プロジェクト	※資料２で検討
II 「農水産業の振興によるくまもと創生」プロジェクト	
III 「 人生100年時代を見据えた くまもと創生」プロジェクト	
IV 「 創業支援と 地場産業の強化によるくまもと創生」プロジェクト	

【現行 H29（2017）.3改訂】

5 戦略の推進・検証体制	
	（１）推進・検証体制
	（２）国との連携
	（３）県との連携
	（４）地域間連携



【第２期総合戦略 R2（2020）.4～】

4 戦略の推進・検証体制		
	（１）推進・検証体制	大きな見直しは行わないが、国等の動向を注視しながら必要な加筆修正を行う
	（２）国との連携	
	（３）県との連携	
	（４）地域間連携	

スケジュール

11

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合戦略	骨子			素案			案	3月末 策定
政策会議				11/26				
外部委員会	8/7		10/29	(仮)11/27			2月中旬	
パブリックコメント						(仮)1/6-2/5		
議会					【素案報告】 R1・第4回 定例議会		【案報告】 R2・第1回 定例議会	